

新年あけまして
おめでとぅ
ございます

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

日頃から社協の事業に対して、ご協力とご支援をいただき誠にありがとうございます。

社協は「誰もがその人らしく安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を目指して事業展開していますが、本年も関係機関・団体と協働して、住民の皆さまとともに地域福祉の推進に積極的に取り組みたいと思います。併せて介護保険事業(訪問介護・訪問入浴介護・通所介護・居宅介護支援)のサービス向上に努め、利用者さまに満足いただけるよう頑張ります。

また、指定管理者の指定を受け公立保育所の管理運営を行っています。子ども一人ひとりを大切に、保護者から信頼され、地域に愛される保育所を目指して運営してまいります。

本年も皆さまの温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

第15回 たらぎ社協福祉まつり開催

みんなが参加し福祉についての理解を深め、お互いに助け合い暮らしやすい町づくりを推進することを目的に、たらぎ社協福祉まつりを開催しました。毎年敬老月間に開催していますが、今年は9月4日が悪天候だったため12月の開催となりました。

町立第1保育所の年長・年中児の皆さんによる勇壮な和太鼓の演奏で開幕し、開会行事のあと、「よしのとゆかいな仲間たち」の皆さんによる歌や舞踊、手品などが披露され、上杉芳野さんの楽しいトークと、社協男子職員の飛び入り参加のダンスで会場を沸かせました。

ゲストのコーナーでは慶徳二郎の歌やトークショー、ぼってん城次・きんきら一太の肥後にわかで会場は爆笑の渦に包まれました。

社協のケアマネジャーで結成している劇団「ちょうちょうなあ」は、今年も寸劇を披露しました。「認知症」の正しい理解と、地域でちょっとした手助けや協力があると、本人が望む自宅での生活を継続できることを寸劇で伝えました。職員の熱演に温かい声援ありがとうございました。



ご寄付へのお礼
多良木町農業委員会(谷口照幸会長)さまから、農林商工祭のバザー益金35,468円をご寄付いただきました。委員会の皆さんが生産されたサツマイモや栗を焼いて会場で販売されました。毎年ありがとうございます。

社協の歳末助け合い事業
社協では一人暮らしの高齢者や障がい者で低所得世帯の方へ歳末助け合い事業として、歳末助け合い支援金を贈呈しています。
今年度は14世帯の方が贈呈の対象となり、一世帯あたり8千円の支援金を担当地区の民生委員さんの協力で年末にお届けしました。



次の方々から社会福祉のためにとご寄付をいただきました。皆さまの温かい善意に感謝申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

(敬称略・受付順)

竹本 博志(故 岩男)

黒木 兼光(故 美智子)

久12区

岩浪 昭雄(故 トミコ)

多5区の1

加納 幸清(故 ハツ)

多10区の2

福永 照美(故了)

多8区の1

西光 治(故 忠範)

多1区の2